

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 14 No. 43 TOTAL 605 平成24年6月11日 第623回例会

〔例会日〕 毎週月曜日 12:30~13:30  
 〔例会場〕 和歌山市湊通り北2-1-2 アバローム紀の国  
 〔事務局〕 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)  
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472  
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦  
 副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜  
 幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度  
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

RI会長 カルヤン・パネルジー

2011-12年度  
アゼリアロータリーのテーマ

『ロータリーの原点を回想』

### 〈本日の例会〉

■第623回例会 6月11日(月)  
 ☆外部卓話 「Jリーグチームのある街を夢見て」  
 ~和歌山にホームタウンの躍動感を~  
 和歌山からJリーグチームをつくる会 アルテリ-ヴォ和歌山  
 ゼネラルマネージャー 児玉佳世子様  
 キャプテン 阿部 巧也様  
 GK 斯波 薫様

### 〈次回のお知らせ〉

■第624回例会 6月18日(月)  
 ☆「ワンワン基金」贈呈式  
 社会福祉法人 日本ライトハウス  
 ☆外部卓話 「盲導犬について」  
 社会福祉法人 日本ライトハウス  
 専務理事 橋本 照夫様  
 \*例会終了後 13:40~14:40  
 次年度第2回クラブ協議会(次年度各委員会事業計画発表)

### 〈前回の例会記録〉

■ロータリーソング 日も風も星も  
 ■ゲスト紹介 RI第2640地区米山記念奨学委員長 谷野一彦様  
 米山奨学生(和歌山大学)叶志 恩(ヤップチエン)様  
 (和歌山大学経済学部 ビジネスマネジメント学科4年)  
 ■ビジター紹介 なし  
 ■出席報告 会員数35名 内出席免除2名  
 本日の出席(6/4) 25/35名 71.42%  
 前々回修正出席(5/21) 29/35名 82.85%  
 ■メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 3名

### 〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか  
 II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

### ●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	6月11日(月)	クラブフォーラム「今期の活動報告」
和歌山	6月12日(火)	「米山記念奨学生の私と母国ラオス、小学校への貢献」
和歌山サクライズ	6月12日(火)	
和歌山東南	6月13日(水)	
和歌山西	6月13日(水)	一年を振り返って
和歌山東	6月14日(木)	朝霧ミズゴルフスクールPGA認定ティーチングカ 野田 誠さん
和歌山城南	6月14日(木)	外部卓話「世界の事例に見る シャッター通りの再生」
和歌山南	6月15日(金)	卓話「一年を振り返って」
和歌山中	6月15日(金)	第4回 クラブ協議会

### ●会長報告



会長 後和信英

皆様こんにちは、6月は、ロータリー親睦月間となっています。

親睦委員会の皆様よろしくお願ひします。

6月2日 旭学園への訪問されたメンバーの方々、お疲れさまでした。

総勢16名の方々ありがとうございました。

後ほど、青少年委員会委員長の小門さんより報告をお願いします。

そして、本日は、2640地区から米山奨学委員長の谷野一彦様と米山奨学生の ヤップ・チエンさんようこそお越し下さいました。

ヤップ・チエンさんは、マレーシアのご出身で、現在和歌山大学に在学中だそうです。後ほど「日本留学と米山奨学生」という題で卓話をしていただけます。よろしくお願いいたします。

### ●幹事報告



幹事 小形みちる

6/2(土)の旭学園へ訪問された皆様、ありがとうございました。

前回のワンワン基金の募金額は15,656円でした。

今日で最終となります東日本大震災の募金箱を回させていただきます。ご協力お願い致します。



## 委員会報告

### ◎親睦活動委員会

當仲清孝会員



いよいよ今年度最終月となりました。  
本日ボックスに6月25日(月)の最終  
夜間例会の案内を入れております。  
時間は6時半から、場所はアバロー  
ム11階ツインバードです。18日まで出欠のお返事を  
お願い致します。

### ◎青少年育成委員会

小門蔦子会員



6月2日(土)の旭学園訪問の報告  
6月2日(土)、旭学園へ総勢16名で  
訪問してまいりました。  
お休みの日にも関わらず、たくさん

の方にご参加いただきまして、ありがとうございました。

当日は、アゼリアバンドの演奏で歌を歌ったり、手  
作り輪投げやジャンケンゲームなど、アゼリア会員  
も、子どもたちも一緒になって和気あいあいと楽し  
むことができました。





## お誕生祝い

小門 薫子会員 6月27日

お誕生日おめでとうございます。



## 外部卓話

### 「米山事業についての報告」

R I 第2640地区米山記念奨学委員長 谷野一彦 様



今日は、米山奨学生に卓話の機会を与えていただき、誠にありがとうございます。

この様な機会を通じ、学生たちを直に見ていただきます事は、より一層のご理解と、また学生にとりましても人生経験豊富なロータリアンとの交流は、貴重な体験となるものであります。

米山記念奨学会は、2012年1月4日に、より公益性が高い事業として、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」として内閣府より認定を受けました。このことにより、理事・評議員の管理責任が一層重くなり、選考に関しても当該資格者に対してより透明で公平な選考が求められることが強調事項となりました。当地区でも選考につきましては、全国統一の指定校推薦制度と、優秀な人材を得るため奨学生推薦を各大学にお願いし、さらに被推薦者を、地区選考試験で選抜し、二段階で採用を決定しております。その選考基準は学業が優秀であることの他に、異文化理解、コミュニケーション能力に優れていることに重点を置いております。

本日お招きいただきました米山奨学生 ヤップ・チェンさんは、非常に優秀な学生で、2640米山学友会会長として頑張っております。後程、卓話をごゆくりお聞きください。

ロータリアンとの交流の中で日本人の心を理解してもらい、信頼を築き、やがて一人ひとりの胸に世界平和の心を育てるといふ、日本のロータリーが世界に誇る国際奉仕事業であることをご理解いただき、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 「日本留学と米山奨学生」

米山奨学生(和歌山大学)叶志恩(ヤップチーエン)様



(卓話のタイトル：米山奨学生になる前の二年間と奨学生になってからの一年間、また、その一年間で経験したこと&感じたこと)

私が来日してから最初の二年間はほとんど勉強+部活+サークル+複数のアルバイトといった充実した毎日を自分なりに楽しめましたが、余裕が無かったことに苦しくも感じました。

三年目に、運がよく、学内では申請しにくい奨学金に受かり親も大喜びしました！

その後すぐにはアルバイトをやめたり買いたいものを買ってしまったりとかせずに、生活が180度カラッと変わったほどではありませんでしたが、自分自身の留学生活には凄く大きなターニングポイントとなりました。

大きく分けると5点：

1) ただのお金ではない>>ただでもらっている訳にはいかない

親の仕送りでもなければ自分が稼いだお金でもない、ちゃんとした財団が国際親善などの趣旨で集めた奨学金を頂いている覚悟！お金の用途を考えるより、まずはしっかりと自分の留学生活と金銭理念を見つめ直しました

## 2) 年を超えて、人間関係の輪が広がった

毎月クラブに通うことによって、たくさんの年上の方とお話しする機会が多くなり、敬語の勉強になったのと、母国のことを紹介する度に自分も改めて母国のことを発見できたりし有意義な交流ができました。

## 3) 国籍を超えて、人間関係の輪が広がった

奨学生になったと同時に、地区の学友会に所属することになり、同じ地区の諸大学の奨学生と知り合い、一年を通して仲良く様々な活動に参加しています。今年度は8校で9カ国の約20名の仲間がいます。普段大学ではできないような留学生同士の交流も楽しめています。

## 4) ロータリー奨学生としての年間イベント

主にはオリエンテーション、地区大会、懇親会、卒業式の恒例イベントがありますが、ほかにも委員会の方々が主催するBBQや修学旅行もあります。個人では毎月の例会参加以外に、複数のクラブでの卓話もあります。

一方、毎年ではないですが、特別イベントとして、例えば二年前の上海国際親善交流会や、私自身も参加した昨年度の和歌山紀南台風ボランティア活動もありました。海外の人が困ったときに日本人が助けてあげるように、日本人が災害に遭ったときに私たち外国人留学生も力を貸したいという気持ちで、地区委員会のご協力で昨年9月に2日間にわたって実際に被災地に行き、お掃除やタオル贈呈など、微力ではありますが自分たちなりに支援に参加することができました。とても貴重な経験で、ロータリー奨学生としても大変誇らしく思いました。

## 5) 家族のような大切な存在

例会以外の時間にも、カウンセラーの方やクラブの会員の方々がとても優しくしてくださっています。例えば、お正月にお家に招いて頂いて一緒に

おせち料理を食べながら話したり、会長のご紹介で神社で巫女さんを体験したり、プライベートでたまに湯浅の観光地に連れて行って頂いたり、とても普通の大学生ではできないようなことも沢山経験しました。

また、個人的な話ですが、私が今年四月までやっていた就職活動で落ち込んでいた時にも相談に乗ってくださり凄く心強く感じて頑張れました。

最後に、

私がもしロータリーの奨学生になっていなかったら、これだけの活動ができるだろうか。また、経済的にも心的にも余裕を持ちつつ、これだけ充実した留学生活ができるだろうか。ふりかえて考えてみれば、自分は本当に恵まれていると思っています。これからはいつか恩返しができるよう、もっともっと頑張らないといけないと思いました。

ご清聴ありがとうございました。

## S・A・A 報告 【3つの箱】

### \* ニコニコ箱

地区米山奨学委員長 谷野一彦様 本日は卓話の機会を与えていただきまして、有難うございます

小門薫子会員 誕生月です。ロータリーへ来させて頂く事が若さを保つ秘訣だと喜んでます。皆様、いつまでもよろしく。

後和信英会員 本日は、地区米山奨学委員長の谷野様、米山奨学生のヤップチーエンさん、ようこそお越しくございました。本日はよろしく願い致します。

小形みちる会員 今日お誕生日の小門会員、おめでとうございます。いつまでもパワフルにご活躍して下さい。

本日合計額 17,000円 今年度累計額 1,216,000円